

# ちやんぷるー はんどいん

CHAMPURUU HANDBOOK

## －沖繩の言語と文化－

INTRODUCTION TO OKINAWAN LANGUAGE & CULTURE



Edited by Kyoko Hijirida and Tomoko Oshiro

University of Hawaii  
Department of East Asian languages and literatures

Copyright ©2010 by Kyoko Hijirida & Tomoko Oshiro

## はじめに

『チャンプルー ハンドブック』は、ハワイ大学東アジア言語・文学科の「沖縄の言語と文化」（日本語471）コースの主テキストとして作成されました。東アジア言語・文学科は、日本語コース、韓国語コース、中国語コースから成っていますが、台湾語に続いて沖縄語が東アジア言語学コースの一つとして、2001年にカリキュラムの内容に含められるようになりました。ハワイ沖縄移民100年祭を祝った時期に重なるように「沖縄の言語と文化」コースが2002年にハワイ大学理事会の承認が得られ、2004年に開講されました。

『チャンプルー ハンドブック』では、「沖縄の地理」「沖縄のことわざ」「民話」「食文化」「年中行事」「歌と踊り」「世界のうちなーんちゅ」「沖縄の世界遺産」を取り上げて沖縄の人々の暮らしや価値観に触れ、また「移民の父山久三」「ハワイの沖縄コミュニティー」というハワイの学習者にとって最も身近な沖縄文化に触れることで、ハワイと沖縄との繋がりを確認していきます。各課の冒頭には、自律的な学習が起りやすいように、その課の「目標」と「学習成果」が明確に掲げられ、課末の「タスクとディカッション」のコーナーで、学習者が教室で学んだことをベースにして討論及び展開ができるような工夫がなされています。

『チャンプルー ハンドブック』全体の教育目標は、以下の3点になります。

- ①沖縄の文化や習慣を理解し、その価値観や考え方を学ぶこと。
- ②移民社会における沖縄文化の継承のプロセスを学ぶと同時に、他文化との比較をしながら沖縄文化の体験や実践を通して多文化社会への理解を深めること。
- ③ハワイにおける沖縄県系人の行動様式や共同体を理解することで、コミュニティーの文化活動に気軽に参加し、かつ楽しめるようになり、ハワイの、ひいてはグローバルな多文化社会の中でより良く生きる糧とすること。

本テキストを用いて沖縄の文化を学ぶことになる学習者が、参加型の言語・文化の学習体験を通して、多様な社会の言語・文化を受容し柔軟に活躍できるような人材に育っていくことが願いです。そして、ユイマール（相互扶助）の精神に溢れ、多様性が豊かに共生する社会、そして世界に貢献していくことを願います。

ハワイ大学 聖田京子  
沖縄国際大学 大城朋子

## 謝辞

本書の作成に惜しみない協力をいただいた以下の方々や諸機関に感謝いたします。

- ◇ 助成支援金その他の援助をいただいたハワイ大学日本研究センター
- ◇ ウェブサイト及びウェブパブリケーションでお世話になったハワイ大学沖縄研究センター
- ◇ 当山久三の肖像画の写真及び関連資料の使用を許可して下さったハワイ沖縄センター (Hawaii Okinawa Center)
- ◇ 「歴史上の人物 当山久三伝」の基礎資料とさせていただいた『沖縄県人海外移民の父 当山久三小伝』金武町教育委員会
- ◇ 『沖縄の暮らしと昔話』の一部の使用を快く許可して下さった沖縄語普及協議会と琉球大学の宮良信詳教授
- ◇ ハワイ大学で「琉歌」に関する講義をして下さり、また原稿の使用を快諾して下さった琉球大学の仲程昌徳教授
- ◇ 写真を提供していただいた琉球大学尚弘子名誉教授及び KZ00 放送局の宇良啓子アナウンサー
- ◇ 「世界のうちなーんちゅ」関係の資料を提供して下さった東西文化センターのロバート仲宗根さん
- ◇ 編集と校正及び要約等に協力して下さったハワイ大学院生の富永和歌さん及びビクター・オーキム (Victor OKim), ジーン・ヴァントロイヤー (Gene Van Troyer)
- ◇ 「食文化」「年中行事」の章を執筆して下さった沖縄国際大学尚真貴子准教授
- ◇ この本の翻訳を担当して下さった藤城孝輔さんとプルーフリードをして下さったミック・チャーチマン (Mick Churchman) さん

